

令和3年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区：空知地区
- 2 事例報告学校名：赤平市立赤間小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 疋田 博 和
- 4 キーワード：小学校統合による強靱な赤平市教育

1 はじめに

赤平市は、小学校3校を1校に統合し、令和4年度から統合小学校をスタートさせる。これにより市内一つずつの小学校、中学校となり、赤平市の教育の中心的役割が一層明確になる。また、赤平市教育行政執行方針において、小中連携を加速し、授業改善の連携や接続強化を進めることが示され、小中連携教育に向けての取組をスタートさせたところである。

2 実践の概要

- (1) 統合小学校のスムーズな開校スタートのためには、何をどのように取り組むかについて共通理解を図ることが重要である。教育目標には、特にこだわりをもって取り組んでいる。赤平市内の子どもたちの現状と課題を明確にして、それを改善するために育成をねらう資質・能力を教育目標に据えて「進んで学ぶ」「認め合う」「やりぬく」をキーワードとして、それらを合わせた教育目標の文言とし統合準備委員会において検討・承認されており、その具体を表している【グラウンドデザイン】に基づいて各分掌の目標や運営方針、詳細計画はすでに策定済みである。

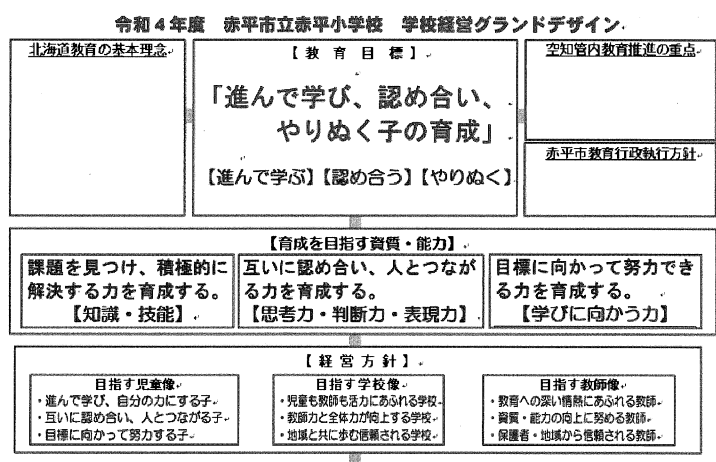
統合小学校教育目標

「進んで学び、認め合い、やりぬく子の育成」

- | | |
|-----------------------|---------|
| 課題を見つけ、積極的に解決する力を育成する | <進んで学ぶ> |
| 互いに認め合い、人とつながる力を育成する | <認め合う> |
| 目標に向かい、努力できる力を育成する | <やりぬく> |

統合小学校の開校にあわせて、「学校教育の理念伝達」「組織・機動の強化」「人材育成システムの確立」など赤平市の教育の更なる強靱化を目指して実務構築を重ねてきた。

現在は、「細部にわたる具体的教育活動」策定に向けて統合準備委員会ワーキンググループにおいて、実践レベルでの検討が進められており、育成をねらう資質・能力や目指す児童像などへのアプローチがまとめられているところである。



- (2) 地域と共に歩む取組は、コミュニティ・スクールにて小中連携教育を進めるためのサポートとして「地域の挨拶運動」と「地域の見守り」について、今年度から学校運営協議会内のグループとして構成されている。

地域の支援や教育委員会の関わりのもと、地域と共にある学校づくりの柱として位置付けながら開校の機会に合わせて「挨拶運動」「見守り」での地域連携をスタートさせ実践・検証・改善を行っていく予定である。



- (3) 市内小学校連携の推進について、今年度はこれまでに6回の交流学习が実施された。また、8月には、赤平市統合小学校学校部会で「教育目標の策定」の説明があり、9月には、赤平市3小学校で教育目標の策定理念の伝達と【ランドデザイン】の構造コンセプトの説明を行った。【ランドデザイン】 統合小学校教育目標 「進んで学び、認め合い、やりぬく子の育成」とそれらを構成するキーワード「進んで学ぶ」「認め合う」「やりぬく」を市内の全職員で理念共有を図ることが統合小学校の運営面で必定である。

- (4) 小中連携について、家庭学習強調週間による学習習慣や生活習慣の定着に向け、小中合同の家庭学習強調週間と生活リズムチェック週間を設定し、家庭に周知している。家庭学習の定着に向けての取組を小・中学校ともに実施することで、兄弟姉妹が在籍する家庭では、落ち着いて学習に取り組むことにつながっている。

今後、学習習慣の定着による、学習時間の充実と学習内容の「質」の向上を目指していきたい。



3 おわりに

令和4年度の統合小学校開校では、「開校初年度としての全力始動」を目指していく。そのため、統合小学校が目指す教師像を根幹に据えながら教育公務員としての資質・能力向上に努め、種々の信頼を獲得できる強靱な学校力を備えていくことが重要である。

ゆえに、各位が教職員としての使命感をもち、プロとしての資質・能力をたゆまず磨き、組織・機動力、そして全体力を向上させ、保護者・地域の信頼と期待に応える強靱な赤平市教育の実現をしていく所存である。



<全力始動>
開校初年度、教育活動の積極展開